

R4.4月～ 水位監視システムの導入

- 市内の冠水頻度の多い地域の道路に浸水センサを設置するとともに、当該地域の排水路等に危機管理型水位計を設置する。
- 浸水センサ及び危機管理型水位計のリアルタイムデータを活用した速やかな道路冠水状況の把握と市民への情報提供体制を構築する。

《実施機関：酒田市》

1 現状と課題

- 現在、大雨の際の道路冠水被害は、市民による通報又は市職員の巡視によって把握している。
- 通報や巡視では、道路冠水の発生から市民への情報提供までに時間を要することから、市民の逃げ遅れや自動車等の浸水被害が生じている。
- 特に、近年増加している短時間での豪雨では、事前に市職員を巡視させることが難しく、市民への情報提供が遅れている。



道路の冠水状況をリアルタイムで把握し、今よりも早い段階で市民への情報提供を行うことで、自動車等の浸水被害や市民の逃げ遅れの無い地域を実現したい。



《引用元》中部地方整備局 三重河川国道事務所調査課：“簡易型浸水センサ等を用いた浸水状況共有システムの現場実証” .<https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/2021kannai/pdf/re10.pdf>

2 事業内容

(1) 浸水センサ

- 大雨の際に冠水頻度の高い豊里、泉町、東泉町、富士見町一丁目、富士見町二丁目、若浜町、末広町、東栄町、東中の口町、亀ヶ崎三丁目、亀ヶ崎四丁目、千石町、錦町の計13か所に浸水センサを設置する。
- 一定の浸水を観測した場合、取り付けられた無線通信機を通じて自動的に酒田市職員及び市民にメールで通知を行う。(令和4年度は市職員までの通知、現場実証を経て令和5年度以降に市民へ通知予定)

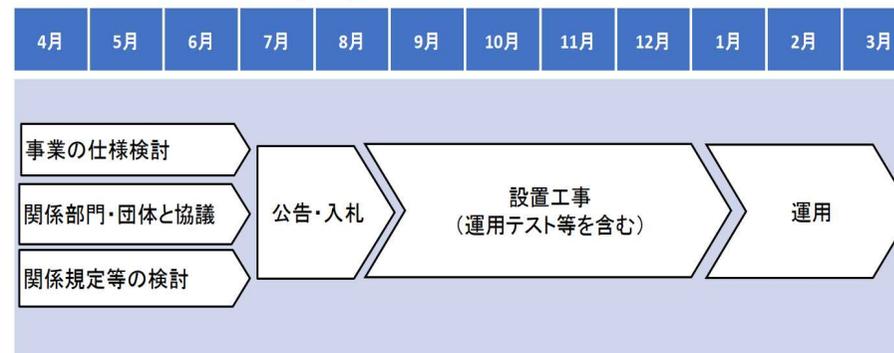
(2) 危機管理水位計

- 大雨の際に越水の恐れのある泉町地内排水路、家際排水路、札谷地排水路、本溝排水路、鶴川排水路、広野排水路の計6か所に危機管理型水位計を設置する。
- 取り付けられた無線通信機を通じてリアルタイムで排水路の水位データをインターネット(危機管理型水位計運用システム)で公開する。



浸水センサ及び危機管理型水位計のリアルタイムデータを活用して市は、道路冠水が生じる前に避難情報を発信する。また、市民もメール及びインターネットから情報取得が可能となる。

～令和4年度事業スケジュール(予定)～



R4.4.8 高齢者の会食交流会(第5学区)での防災講座

- 水害時の減災を図るため、学区社協による高齢者の会食会(参加者約40名)で、会食前に防災講座をさせていただきました。
- 自分の住む学区で発生した近年の水害を振り返り、洪水ハザードマップや洪水浸水想定区域図の解説を交え、避難所について、災害時の避難方法(特に冠水・洪水時)、平時の備え(防災グッズ等)や心構え等のお話をさせていただきました。

《実施機関:鶴岡市》



次第

- 1 近年の洪水災害状況について
- 2 5学区の洪水災害
- 3 日頃からの備えと避難行動
- 4 学区・町内会・市の取り組み状況

▲資料(抜粋)

R4.4.13 出水時等状況把握訓練を実施（酒田出張所）

- 洪水や地震発生時等の緊急時に円滑かつ迅速な状況把握活動を行うため、出水時等状況把握訓練を実施しました。
- 今回の訓練では、出水・地震発生時に使用する『河川巡視・点検報告システム』や『無線設備』の操作方法を確認するため、酒田出張所管内堤防上で実操作訓練を実施。

＜実施機関：酒田河川国道事務所＞



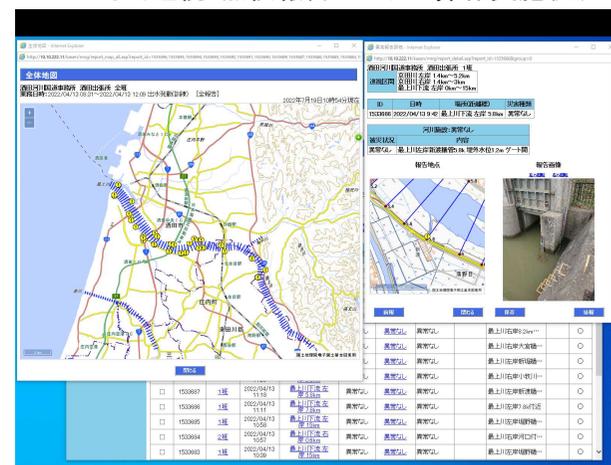
▲▼無線応答確認状況



▲▼状況把握班現地調査状況



▲▼河川巡視・点検報告システム操作実施状況



R4.4.22 出水時等状況把握訓練の実施（赤川出張所）

- 洪水や地震発生等の緊急時に円滑かつ迅速な状況把握活動を行うため、出水時等状況把握訓練を実施しました。
- 今回の訓練では、出水・地震発生時に使用する『河川巡視・点検報告システム』や『無線設備』の操作方法を確認すると共に、実際に現地にてシステムを活用した報告訓練を行いました。

《実施機関：酒田河川国道事務所》



▲▼事前説明（現場事務所、出張所）



▲▼無線使用と情報集約状況



▲▼現場での状況確認訓練の様子



R4.4.25 鶴岡市水害危険箇所現地視察

- 起こりうる水害に対し、迅速かつ的確に業務を遂行できるよう、新任の職員を対象に、過去に水害のあった箇所の現地視察を実施しました。
- 過去に内水被害や外水被害のあった箇所に行き、被害時の写真と見比べ、周囲の河川や水路との因果関係を学び、水害に対するハード面での対策をしている箇所については、市の工事担当職員から説明してもらい、水害についての理解を深めました。

《実施機関：鶴岡市》

実施状況



市で実施した冠水対策(雨水事業)



過年度に発生した河川氾濫箇所の堤防嵩上げ工事を視察



R4.4.26 出水時等状況把握訓練を実施（飽海出張所）

- 洪水時及び地震時等の緊急時に備え、円滑かつ迅速な活動を行うため、出水時等状況把握訓練を実施しました。
- 最上川下流管内(主に飽海出張所管理区間)について出水時等状況把握訓練を行い、スマートフォン及び携帯無線の装備及び操作手順を確認後、現地にて巡視・点検・報告をし、飽海出張所の河川巡視・点検報告システムと無線設備を活用しながら相互確認した事で、有事の際の状況把握に備えています。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

現場事務所における操作説明状況 全景（スマートフォン、携帯無線）



現地における巡視・点検状況(目視確認、スマホ及び無線報告)



現地報告の相互確認状況(飽海出張所のシステム及び無線設備を活用)



操作説明状況【①】



操作説明状況【②】



現地における状況把握訓練状況(重要水防箇所)



R4.5.13 洪水対応演習（ダム管理演習）を実施

- 月山ダム管理所では、毎年、本格的な出水期を前に大規模な出水を想定した「洪水対応演習(ダム管理演習)」を行っており、令和4年5月13日に訓練を実施しました。
- 今回の演習では、新型コロナウイルス感染症の関係もあり、少人数にて対応等となりましたが、一連の流れの中で時間経過とともに関係機関(鶴岡市・酒田市・三川町等)への伝達等の再確認ができました。

《実施機関：月山ダム放流通報連絡会 各機関》



R4.5.16他 「出前講座」の実施による防災知識の普及啓発

- 気象台では防災機関や一般の方向けなどに出前講座を随時実施しています。
- **近年の地球環境の変化や大雨による災害の概要、防災気象情報の活用方法などを分かりやすく解説し、参加者の皆様に気象防災に関する理解と関心を深めていただきました。**

※出前講座の詳細はこちら：<https://www.jma-net.go.jp/yamagata/detail/lecture.html>

《実施機関：山形地方気象台》

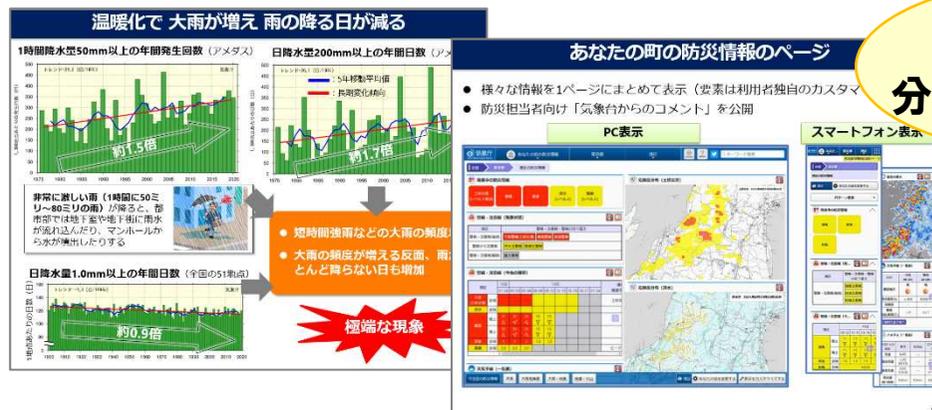
令和4年度第一四半期(4月～6月) 開催実績

日程	開催場所	実施概要	参加人数	実施方法
5月16日,23日,30日,6月6日(計4日)	山形大学	地域教育文化学部向け講義	延べ310名	対面
5月25日	警察学校	災害警備専科	12名	対面
6月20日	山形県河川課	河川管理担当者会議	29名	Web
6月21日	消防防災科学センター	山形県市町村職員防災研修	49名	対面
6月24日	山形市霞城公民館	市民講座	18名	対面

出前講座の様子(山形大学)



出前講座の資料(抜粋)



気象台職員が
分かりやすく解説!



R4.5.19～25 許可工作物合同点検の実施（赤川出張所）

- 出水期を本格的に迎えるにあたり、災害の未然防止、軽減を目的に赤川に設置されている許可工作物施設管理者と合同で点検を実施しました。
 - 今回の点検では異状のある施設等は確認されませんでした。
- ◀実施機関：酒田河川国道事務所、庄内総合支庁、鶴岡市、庄内赤川土地改良区、浜中広岡土地改良区、東日本高速道路（株）、東日本旅客鉄道（株）▶



▲五ヶ村堰第2樋門（庄内赤川土地改良区と合同）



▲新浜広揚水機場（浜中広岡土地改良区と合同）



▲道形排水樋門（鶴岡市土木課と合同）



▲鶴羽橋（鶴岡市土木課と合同）



▲黒川橋（鶴岡市櫛引庁舎と合同）



▲赤川頭首工（庄内総合支庁と合同）

R4.5.20 排水ポンプ車及び照明車設置・運転訓練を実施（飽海出張所）

- 洪水時の内水被害発生に備え、円滑かつ迅速な活動を行うため、排水ポンプ車及び照明車設置・運転訓練を実施しました。
- 最上川下流管内に配備されている毎分30m³の排水ポンプ車及び照明車について設置・運転・撤去を行い、装備及び手順を確認し、出水期に備えています。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

排水ポンプ車設置・運転訓練 全景（最上川 右岸 22.8k）



接地設置作業(発動発電機)



排水ホース接続作業



排水ポンプ投入状況(川裏側)



排水状況(川表側)



照明車設置・運転訓練 全景



運転完了



カメラ操作訓練



R4.5.24～25 許可工作物合同点検の実施（酒田出張所）

- 出水期を本格的に迎えるにあたり、災害の未然防止、軽減を目的に最上川に設置されている許可工作物施設管理者と合同で点検を実施しました。
- 今回の点検では異常のある施設等は確認されませんでした。

＜実施機関：酒田河川国道事務所、酒田市、山形県企業局、庄内総合支庁、最上川土地改良区、大町溝土地改良区、JR東日本、東日本高速道路(株)＞



▲下瀬樋管点検(庄内総合支庁と合同)



▲最上川白鳥大橋点検(東日本高速道路(株)と合同)



▲袖裏排水機場点検(酒田市と合同)



▲酒田市上水道取水口点検(酒田市と合同)



▲酒田工業用水取水口点検(山形県企業局と合同)



▲最上川第二橋梁点検(JR東日本と合同)

R4.5.26 内水等排除作業訓練の実施（赤川出張所）

- 本格的な出水期を前に洪水時における内水等排除作業を円滑かつ迅速に実施するため、山形県や関係自治体、管内工事業者等と合同で、排水ポンプ車設置訓練を行いました。
- 今回の訓練では、国土交通省が保有する排水能力60m³/分と30m³/分、2台の排水ポンプ車のほか、山形県の排水ポンプ車も現地に設置し、関係者で実際の対応等を確認しました。

《実施機関：酒田河川国道事務所・山形県・鶴岡市・三川町》



▲30m³/m排水ポンプ車



▲山形県の排水ポンプ車



▲訓練状況



▲60m³/m排水ポンプ車



▲排水作業の準備状況



▲排水の状況

R4.6.1～2 許可工作物合同点検の実施（飽海出張所）

- 出水期を本格的に迎えるにあたり、災害の未然防止、軽減を目的に最上川等に設置されている許可工作物施設管理者と合同で点検を実施しました。
- 今回の点検では異常のある施設等は確認されませんでした。

《実施機関：酒田河川国道事務所、山形県庄内総合支庁 農村整備課・道路計画課、最上川土地改良区、大町溝土地改良区、JR東日本 仙台支社》



▲立谷沢川橋梁点検(JR東日本と合同)



▲根堀沢排水樋管(大町溝土地改良区と合同)



▲草薙頭首工点検(大町溝土地改良区と合同)



▲最上川取水口(最上川土地改良区と合同)



▲北楯頭首工点検(最上川土地改良区と合同)

R4.6.8～ 重要水防箇所合同巡視の実施

- 洪水時に迅速かつ的確な水防活動の実施を図り、災害を未然に防ぐための取り組みとして、関係機関(市町の防災担当者、消防本部、水防団)が一同に会して、最上川下流及び赤川の重要水防箇所を合同で巡視。
⇒洪水時の適切な行動に向けた認識の共有。
 - 最上川下流及び赤川の沿川4市町で、洪水に対してリスクが高い箇所を現地で確認。
⇒川の水が多くなったときの水防活動等への備え。
- ※実施日:6月8日、6月13日、6月20日、6月27日

《参加機関:酒田河川国道事務所、鶴岡市、酒田市、庄内町、三川町、
鶴岡市消防本部、酒田地区広域行政組合消防本部、各自治体消防団》

実施状況



▲最上川下流での実施状況_6月13日



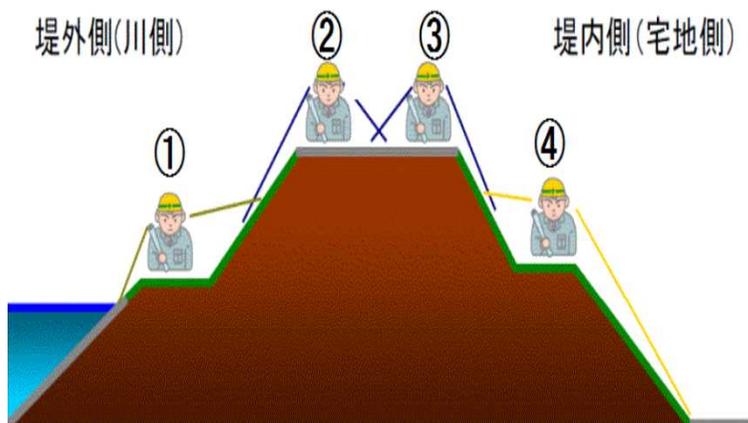
▲赤川での実施状況_6月20日

R4.6.9～ 堤防徒歩目視点検の実施

- 堤防等の河川管理施設の機能に影響を及ぼす変状・変化は様々な要因によって生じることから、**その変状・変化を発見・観察**するため目視を主体とした堤防徒歩目視点検を実施しました。
- 令和4年6月9日から一班4人体制により管内河川の点検を実施し、**発見した変化・変状箇所**については様々な対策を講じることにより、堤防の決壊や河川の氾濫等による**水害防止・軽減**を図ります。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

徒歩点検のイメージ



点検実施内容(例)

河川カルテ記載内容の進行程度を確認し撮影記録する。新たな変状を発見した場合は、変状規模を必要に応じて計測し、撮影・記録する。



堤防法面の表層状況を確認



堤防舗装の劣化状況を確認



小動物による穴
(付近を重点的に点検)



ベテラン職員による若手職員の育成指導も行います。

R4.6.14 船上巡視を実施（飽海出張所）

- 日常的に堤防や樋管などの河川管理施設をパトロール車を用い、巡視を行っているが、陸上からでは目視できない範囲について、船による船上巡視を実施しました。
- 最上川下流管内(酒田・飽海出張所合同)において、船上からの点検を行い、確認された変化・変状箇所については様々な対策を講じることにより、堤防の決壊や河川の氾濫等による水害防止・軽減を図ります。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

船上からの巡視状況



巡視には防災エキスパート、巡視業務、
監理施設検討業務技術員も乗船



船上からの巡視状況



船上から見た河川管理施設(水制工)



R4.6.16 船上巡視の実施（赤川出張所）

- 陸上からの巡視では目視しにくい範囲に変化・変状がないかを確認するため、船による船上巡視を実施しました。
- 変化・変状が確認された箇所には様々な対策を講じることで堤防の決壊や河川の氾濫等による水害防止・軽減を図ります。
- 今回の点検では大きな異常がある箇所等は確認されませんでした。

《実施機関：酒田河川国道事務所》



▲巡視状況



▲巡視状況

R4.6.17 親子防災教室(上郷小学校)

- 防災意識を育み、高めるため、小学校で親子防災教室を開催しました。
- 小学5・6年生とその保護者には、「大雨の時、どう避難するのか」について、鶴岡市防災教育アドバイザーが講演と、カードを使った体験型の講座を実施し、小学1～4年生とその保護者には、避難所で利用するマンホールトイレや照明等の防災資機材の紹介と、実際に親子で段ボールベットを組み立てる体験型の講座を実施しました。

《実施機関：鶴岡市》

実施状況



▲5・6年生のカードを使った学習の様子



▲親子で段ボールベットを組み立てている様子

R4.6.18 鶴岡市自主防災組織指導者講習会

- 町内会・住民会等単位の自主防災組織指導者を育成するとともに、組織の強化を図るための講習会(年4回、第1回目)を実施しました。
- 鶴岡市の素因から紐解き、当市で起こりうる災害リスクを学習し、その災害リスクから地域の防災を考え、災害への備えから避難所運営までを山形大学講師よりご講義いただきました。
- 避難所の開設・運営と、災害時避難行動要支援者個別計画について、担当市職員より説明し、自主防災組織に協力をお願いしました。

《実施機関：鶴岡市》

実施状況



R4.6.30 キキクル(危険度分布)の表示改善

- **キキクルと大雨の警戒レベルの色を整合しました。**
- **災害の危険が迫っている場所をより分かりやすく確認できます。**
- **キキクルはこちらのリンクから確認できます:** <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

《実施機関:山形地方気象台》

キキクルの表示凡例

色	警戒レベル
黒 【災害切迫】	5 相当
紫 【危険】	4 相当
赤 【警戒】	3 相当
黄色 【注意】	2 相当
白(水色)	—



スマホは
こちらから!



R4.7.1 PTA研修会での防災講演(鶴岡市立鶴岡第三中学校)

- 防災意識の高揚を目的として、中学校のPTA研修会で、防災講演を実施しました。
- 災害時に慌てず行動できるよう、ハザードマップを利用し、地域で起こりうる災害を解説しました。また、5月から改正された5段階の警戒レベルと防災気象情報についても説明し、早めの避難の重要性について周知しました。
- 中学生向けの資料を作成し『災害時、中学生ができることは何か』について、備えとして家庭でできること、発災時地域でできること、避難所でできることについてお話をさせていただきました。

《実施機関：鶴岡市》



「災害時！中学生ができること」では、家族防災会議をぜひ実施してほしいことと、災害時の助け合いについては、日頃からの地域住民とのコミュニケーションが重要であるため、あいさつや自主防災会での避難訓練などに積極的に参加してほしいことをお伝えしました。

【災害の備え】

①避難場所・避難ルートを確認しておく

災害は、家にいるとき発生するとは限りません。在宅中の避難場所、学校にいるときや職場にいるときの避難場所を確認しておきましょう。

②事前に家族と災害時の行動を確認しておく

①で確認したことを家族みんなで共有しましょう。災害発生時は、電話もつながりにくくなるなど、通信障害も発生します。家族がどこの避難所にいるかが予測できることで、安否の確認ができる場合もあります。(災害用伝言ダイヤル・災害用伝言版等)

③災害用の備蓄をする

災害が発生した場合、すぐに持ち出せるよう非常用持ち出し袋の準備や、ライフラインが被害を受けた場合に備え、最初の3日分程度の飲食物を準備しておきましょう。

2

中学生ができること【地域編】

《避難するとき、手伝いを必要としている人に声をかける、手を貸す》

近所に、一人では避難をするのが困難なお年寄りや障害のある方がいる場合、避難をしているときに困っている人がいた場合には、声をかけてください。

避難はなるべく複数人で！

災害時は、普段と道路の様子がいつもと違います。水害の場合は、道路が川のようにになって、側溝や水路と道路の境界がわからなくなっていたり、地震の場合は、道路に障害物が散乱して通行が困難な状態になっていたりと。

避難の途中困っている人を見つけた場合は、状況を確認し、正確な情報を大人に伝えてください。(無理に手を貸さず、助けを呼ぶ。)



2020.7.28撮影

4

R4.7.5 東郷小学校(三川町)の全校集会以『防災朝会』を実施

- 学校の朝礼などを活用し、水害から命を守るために取るべき行動を”短時間(約15分程度)”で”子どもたちに学習してもらう『防災朝会(講習会)』を今年度も実施しました。
- 今回は、約2年ぶりとなる『対面形式』での防災朝会となり、質問もたくさん飛び交い、楽しく学んでいただきました。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

実施状況：R4 対面形式

日時：R4.7.5(火)8:15~8:30
 学校名：三川町立東郷小学校
 対象：1~6学年(127名)

今回は、約2年ぶりに”対面形式”で実施。

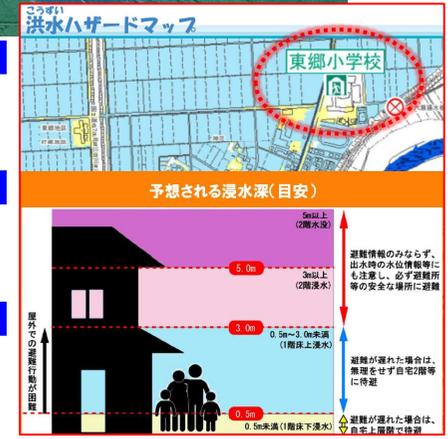
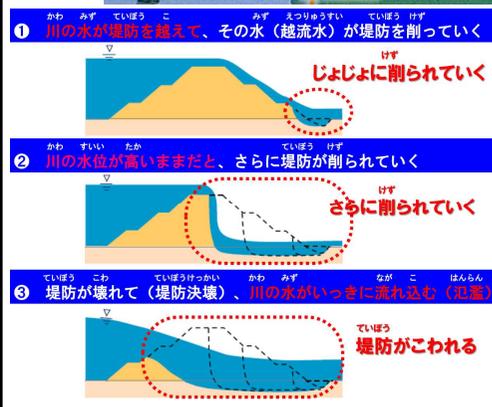


熱心にメモをとってくれました



大きな声で、たくさん質問をしてくれました

学校近くの川を題材に、分かり易い資料となるよう工夫!!



R4.7.14 庄内町自主防災組織連絡協議会 研修会

- 山形県自主防災アドバイザー 細谷真紀子氏を講師に「いのちと暮らしを守るコミュニティ防災 ～これからの共助活動に活かす為に～」と題し講演会を実施した。
- 参加者:町内自主防災会代表者 86名、指定管理者 7名、町職員約20名が参加
- 「水害第一次避難情報発令」時の避難所開設担当者(町職員)と避難所を管理する指定管理者との避難所開設に関する打ち合わせを初めて実施し、連絡方法の確認などを行った。
- R4.6月に改訂した「庄内町防災マップ(洪水・土砂災害ハザードマップ)」の解説を行った。

《実施機関:庄内町》



庄内町
Shonai Town

防災マップは、町のホームページにも掲載しています!!

<https://www.town.shonai.lg.jp/kurashi/bousai/saigai/haza-domappusinnki.html>

トップページ > くらしの情報 > 防災 > 災害ハザードマップ > 最上川、京田川、立谷沢川の洪水ハザードマップについて

最上川、京田川、立谷沢川の洪水ハザードマップについて

更新日：2022年6月20日

令和4年6月、想定し得る最大規模の降雨があった際の洪水浸水想定を基に、最上川、京田川、立谷沢川のそれぞれの洪水ハザードマップを改訂しました。

【主な変更点】

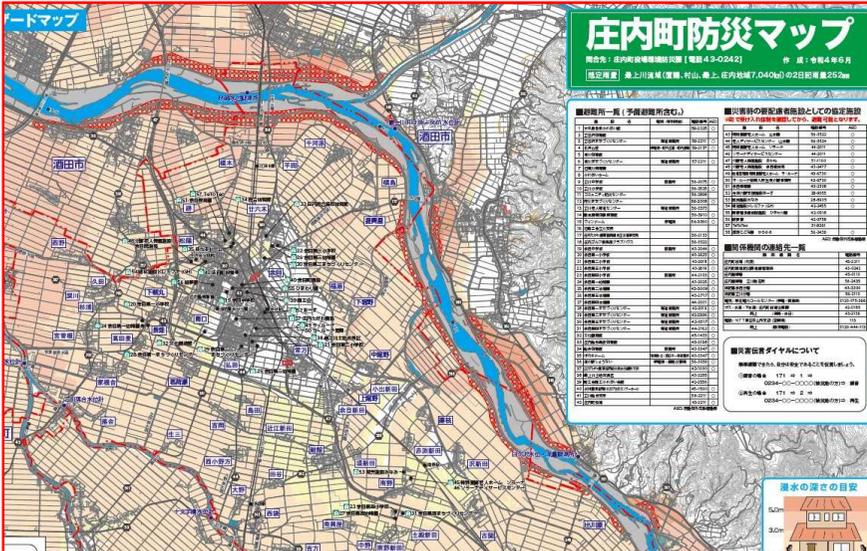
- ◆ 避難所名称の改訂
- ◆ 避難情報の改訂

洪水ハザードマップとは？

河川がはん濫した場合に備えて、地域の住民の方々がすばやく安全に避難していただき被害を最小限に抑えることを目的として、浸水の想定される区域と避難場所などの情報を地図上に明示したものです。

最上川洪水ハザードマップについて

<浸水想定元データ> 国土交通省酒田河川国道事務所 平成29年調査
 <想定雨量> 最上川流域(7,040km²)の2日間総雨量252ミリメートル
 <想定詳細> 最上川の河道および洪水調整施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水による最上川が溢流した場合の浸水想定元データです。なお、浸水に当たっては、最上川の沿岸にも



庄内町防災マップ

組合名：庄内町防災組織協議会【電話453-0242】 作成：令和4年6月
 掲載対象 最上川流域(管轄、利山、最上、立谷沢川7,040km²)の2日間総雨量252mm

避難所一覧(予備避難所含む)		避難所別の避難者数(仮定)としての想定施設	
避難所名	避難者数	施設名	避難者数
1 庄内町立第一小学校	1,200	11 庄内町立第一小学校	1,200
2 庄内町立第二小学校	1,200	12 庄内町立第二小学校	1,200
3 庄内町立第三小学校	1,200	13 庄内町立第三小学校	1,200
4 庄内町立第四小学校	1,200	14 庄内町立第四小学校	1,200
5 庄内町立第五小学校	1,200	15 庄内町立第五小学校	1,200
6 庄内町立第六小学校	1,200	16 庄内町立第六小学校	1,200
7 庄内町立第七小学校	1,200	17 庄内町立第七小学校	1,200
8 庄内町立第八小学校	1,200	18 庄内町立第八小学校	1,200
9 庄内町立第九小学校	1,200	19 庄内町立第九小学校	1,200
10 庄内町立第十小学校	1,200	20 庄内町立第十小学校	1,200

避難所別の避難先一覧

避難所名	避難先	避難者数
1 庄内町立第一小学校	11 庄内町立第一小学校	1,200
2 庄内町立第二小学校	12 庄内町立第二小学校	1,200
3 庄内町立第三小学校	13 庄内町立第三小学校	1,200
4 庄内町立第四小学校	14 庄内町立第四小学校	1,200
5 庄内町立第五小学校	15 庄内町立第五小学校	1,200
6 庄内町立第六小学校	16 庄内町立第六小学校	1,200
7 庄内町立第七小学校	17 庄内町立第七小学校	1,200
8 庄内町立第八小学校	18 庄内町立第八小学校	1,200
9 庄内町立第九小学校	19 庄内町立第九小学校	1,200
10 庄内町立第十小学校	20 庄内町立第十小学校	1,200

最新変更データについて
 最新変更データは、国土交通省酒田河川国道事務所より提供されたデータに基づき、最新の浸水想定元データと避難所情報に基づき作成されています。

R4.7.16 藤島地区防災研修会

- 赤川の影響と最上川水系京田川、藤島川の影響を受け、過去に河川の水位上昇による避難所開設をしている地域の自主防災組織で研修会を実施。
- マイタイムラインの説明から、自主防災組織としてのタイムライン作成を提案し、水害時の減災を図る。

《実施機関：鶴岡市》

1. 自分の行動を考える

自然災害が発生または、発生する危険があるときに、自分が、どう行動するのか考えておく。

- ステップ1: 自分たちの住んでいる地区の災害リスクを知る
- ステップ2: 何から情報を得られるのか確認する
- ステップ3: 自分の行動を計画する

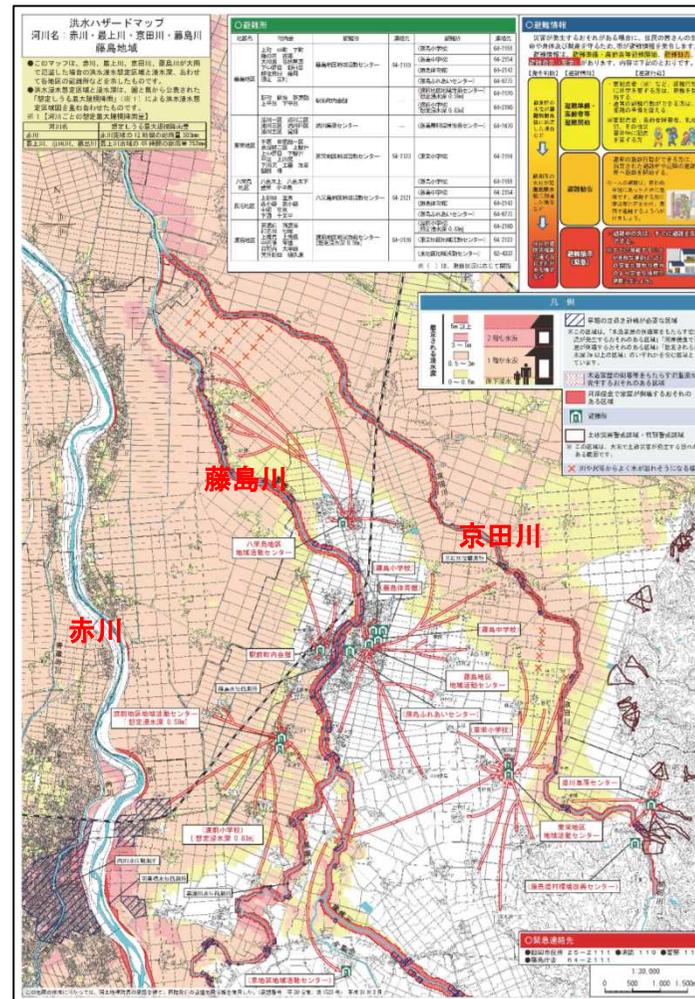
2. 自主防災組織としての活動

マイタイムラインに自主防災組織の一員としての行動をプラスしてみる

例)

- ・大雨により河川の水位が上昇→避難所へ向かう
- 避難所へ向かう時に、隣近所に声をかける→逃げる際に支援が必要な方に避難の協力をする

▲資料抜粋



← 藤島地区のハザードマップ

地区のハザードマップにも3河川が描かれており、水害リスクの高い地域であることがわかる。

特に藤島川と京田川は短時間で水位が上がるため、住民の危機意識も高く、防災に対する関心も高い。

R4.7.27 防災関係機関との「図上演習」の実施

- 総合防災訓練に向け、防災関係機関との図上演習を実施しました。
- 当日は、各機関(酒田海上保安部、酒田警察署警備課、機動隊庄内分駐隊、消防本部、消防団)の実務担当者による演習を行い、問題点や各機関の行動・任務分担等を確認しました。

《実施機関：酒田市》

実施状況



▲ 図上演習の状況



▲ 行動等の確認状況

R4.9.1 東根市で防災気象講演会を実施

- 防災の日にあたる9月1日、「東根市西部防災センター」オープニングセレモニーにて防災気象講演会を開催しました。
- **地域住民の防災気象情報の利活用に関する理解促進及び防災知識の普及啓発**を目的とし、近年の地球環境の変化から大雨への備えや、最新の防災情報の紹介などを行い、参加者の皆様に理解を深めていただきました。

《実施機関：山形地方気象台》

実施状況

日 時：令和 4年 9月 1日
場 所：東根市西部防災センター
参加者：87名
(土田東根市長はじめ、消防団、自主防災組織
リーダーなど、)



▲会場風景



▲山形地方気象台長講演の様子

R4.9.5 湯野浜小学校(鶴岡市)で『出前講座』を実施

- 湯野浜小学校では、防災教育に取り組んでおり、地震や津波、大雨による水害から命を守るために取るべき行動を学んでもらう『出前講座』を実施しました。
- 今回は、**4年生24名**を対象に総合学習授業の中(45分間)で実施し、質問もたくさん飛び交い楽しく学んでいただきました。

《実施機関：酒田河川国道事務所》

実施状況：R4 教室対面

イラストを使ったクイズも交え、楽しく学習!



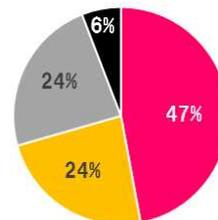
イラストを用いた
分かり易い資料で説明



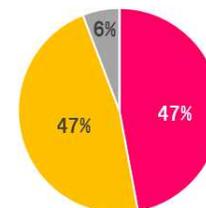
クイズにも積極的に答えてくれました

洪水についての心構えは変わりましたか？

防災朝会の内容はわかりやすかったですか？

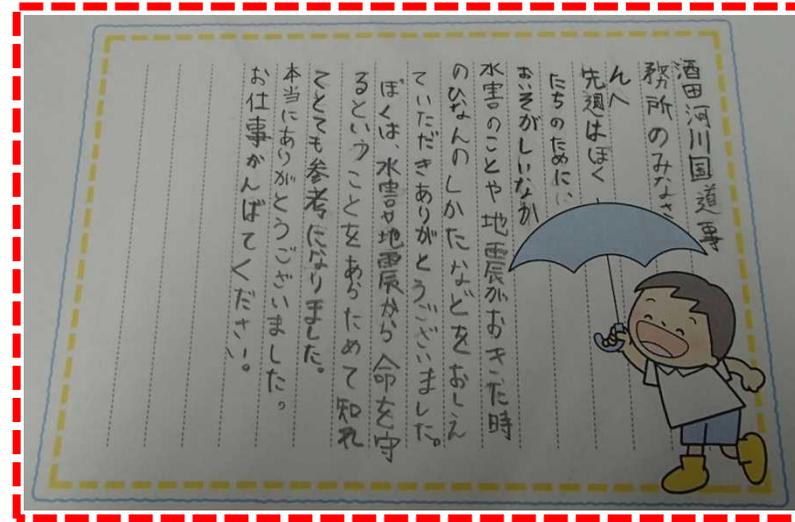


- 変わった
- 少し変わった
- 変わらない
- わからない



- よくわかった
- わかった
- あまりわからなかった
- わからなかった

約7割の児童が洪水への心構えが変わったと回答！
たくさんの感想とお礼状を書いてくれました！



R4.9.11 三川町総合防災訓練

- 町、関係機関及び地域住民が一体となって各種訓練を実施。
- 災害時における防災活動の協力体制の強化が図られるとともに、地域住民の防災に対する理解と防災意識の高揚が図られた。

《実施機関：三川町、三川町消防団、地区自主防災会、鶴岡市消防本部》



▲避難所設営状況
(地域住民によるプライバシーシート設置の様子)



▲給水訓練の状況
(学校のプールの水を浄化し飲料水等に活用)

R4.9.18 ミニお天気フェアの開催

- 山形市の馬見ヶ崎川河川敷で3年ぶりに開催された「かわとぴあ2022」(主催:山形河川国道事務所)で、**住民の気象に対する理解促進、及び防災気象情報の普及啓発**を目的にミニお天気フェアを開催しました。
- 雲や竜巻の発生実験、雨量計の観測体験ができる実験コーナーや、最新の防災気象情報を解説したパネル展示コーナーなどを設け、多くの方々に足を運んでいただきました。

《実施機関:山形地方気象台》

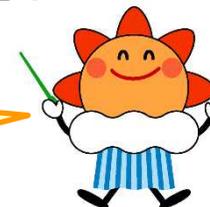


▲実験コーナーの様子



▲パネル展示・リーフレット配布コーナーの様子

お子さまの参加も多く
ご家族で防災への取組を
学んでいただきました！



はれるん

(気象庁マスコットキャラクター)

R4.10.10 防災に関する講演会・ワークショップの開催

- 総合防災訓練に向けて講演会とワークショップを実施しました。
- ワークショップでは、民間津波避難ビルの対象地域ごとに分かれて、避難方法や避難時の問題点などについて話し合いました。
- 住民同士が、避難方法等を理解・共有して訓練に望むことにより、効果的な訓練を行うことができました。

《実施機関：酒田市／内閣府》

実施状況



▲ ワークショップの状況



▲ 講演会の状況

R4.10.17 災害対策本部設置運営図上訓練

- 鶴岡市内において大規模な災害発生を想定し、発災後の庁内初動対応、災害応急対応等災害フェーズの変化に応じた全庁的な職員の災害対応力を向上させるため図上訓練を行った。
- 訓練参加者53名、コントローラー45名、計98名が参加。訓練終了後の振り返りも実施し今後の災害対応に対する職員の意識向上を図った。

《実施機関：鶴岡市》



▲開始前の会場の様子



電話回線やLANを準備し、自席で仕事をしているコントローラーから様々な事案が入電、対応している様子。
本番さながらに、次々と入電する。



▲地域庁舎や消防本部はリモートで参加

災害発生個所や道路の状況など、一目で分かるよう地図に記入している様子。
なかなか思うようにいかず、訓練後地図を刷新。



R4.10.29 酒田市一斉「総合防災訓練」の実施

- 発災時において、市役所を中心として市民・自主防災組織防災関係機関が組織的な連携を発揮できるようにする事を目的とした酒田市一斉「総合防災訓練」を、内閣府と酒田市の共催で実施しました。
- シェイクアウト訓練後、地域では避難所までの避難訓練等を、市役所の対策本部では防災関係機関との図上演習訓練、本部運営訓練を行いました。

《実施機関：酒田市／内閣府》

チラシ（全戸配布）

「地震・津波」に備えて「いま」できること

2022.10/29(土) AM8:03~

総合防災訓練

酒田市一斉

訓練内容

- ・身を守る訓練 (シェイクアウト訓練)
- ・避難訓練
- ・その他地域で計画する訓練 (避難所開設体験 etc.)

主催) 酒田市 内閣府

注意事項 本訓練は、参加場所や人数を問いません。普段の生活や業務の中で実施してください。避難中や危険を伴う作業などは無理に行わず、訓練を放棄して訓練を中止してください。避難中や危険を伴う作業などは無理に行わず、訓練を放棄して訓練を中止してください。避難中や危険を伴う作業などは無理に行わず、訓練を放棄して訓練を中止してください。

お問い合わせ 酒田市危機管理課 0234-26-5701

訓練を中止する場合は、開催開始30分前までに市役所対策本部へご連絡ください。中止の旨は、開催開始30分前までに市役所対策本部へご連絡ください。

訓練の目的、訓練の流れ等を記載したチラシを作製し、総合防災訓練実施の周知を図った。

実施状況



▲①防災関係機関との図上演習訓練

▼②地域住民による避難訓練



- ①防災関係機関（陸上自衛隊第六師団、酒田海上保安部、山形県警察本部[酒田警察署・機動隊庄内分駐隊]、消防本部、消防団）との図上演習訓練を行い、各機関の行動を確認し認識の共有を図った。
- ②大津波警報の発表に伴い、避難行動要支援者の避難行動に対し、地域住民が手助けして津波避難ビルへの避難を行った。

R4.11.18 防災出前講座の実施(酒田市:檜橋自治会)

- ハザードマップを拡大して表示し、地区の周辺がどこまで浸水するかを確認するとともに、土砂災害危険区域など大雨の際に注意すべき危険箇所を確認しました。
- インターネットから得られる情報の種類やその取り方、また、身近なTV(dボタン)からの情報の取り方を資料で分かり易く説明しました。

《実施機関:酒田河川国道事務所》

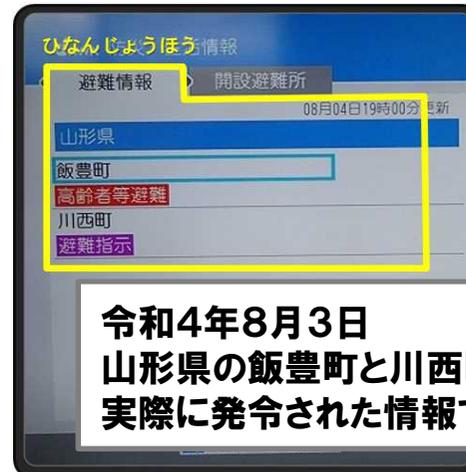
実施状況

日時: R4.11.18(月) 13:30~15:00
 場所: 檜橋自治会館
 対象: 檜橋自治会員 (20名)



水害から「いのち」を守るため

いつ・どうなったら・どこに逃げればよいか避難のポイントを説明!



令和4年8月3日
 山形県の飯豊町と川西町で実際に発令された情報で説明!

